



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月4日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社
 コード番号 4559 URL <https://www.zeria.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊部 充弘

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 西澤 知幸

TEL 03-3661-1039

四半期報告書提出予定日 2022年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	16,305	20.3	2,977	137.8	2,974	42.9	2,601	84.6
2022年3月期第1四半期	13,548	6.4	1,251	18.3	2,081	229.1	1,408	44.8

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 3,262百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 211百万円 (86.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	58.71	
2022年3月期第1四半期	30.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	128,987	57,039	44.1	1,286.96
2022年3月期	124,282	55,092	44.2	1,236.09

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 56,825百万円 2022年3月期 54,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		17.00		18.00	35.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		18.00		18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,000	15.4	3,500	31.0	3,500	12.3	2,800	32.3	63.30
通期	66,000	10.9	7,000	10.0	7,000	17.9	5,600	41.4	126.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	53,119,190 株	2022年3月期	53,119,190 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	8,964,868 株	2022年3月期	8,709,322 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	44,310,896 株	2022年3月期1Q	45,583,769 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 新薬パイプラインの状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は、163億5百万円（前年同四半期比20.3%増）となりました。利益につきましては、営業利益29億77百万円（前年同四半期比137.8%増）、経常利益29億74百万円（前年同四半期比42.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億1百万円（前年同四半期比84.6%増）となりました。営業利益と経常利益の前年同四半期比伸び率に大きな差が生じておりますが、これは前年同四半期に多額の為替差益を計上したことによるものであります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」につきましては、国内市場では、2022年4月に実施された薬価改定の影響などを受け、売上は前年同四半期を下回る結果となりました。しかし、海外市場において、前年度第1四半期に低調であった北欧で売上が好転し、さらに「アサコール1600mg」の伸長もあり、全体として売上は好調に推移いたしました。炎症性腸疾患（IBD）治療剤「エントコート」（国内販売名：「ゼンタコート」）につきましては、国内においては前年並みに止まりましたが、海外において、カナダ、北欧などで売上が伸長し、全体として売上は大きく増加いたしました。また、クロストリジウム・ディフィシル感染症治療剤「ディフィクリア」につきましても、欧州の感染症診療ガイドラインで第一選択薬として推奨される中、営業リソースを積極的に投入した結果、売上を大きく拡大いたしました。なお、「アコファイド」、「フェインジェクト」につきましては、それぞれ内視鏡実施医療機関、消化器科・産婦人科を中心に市場構築に努めております。

これらの結果、当事業の売上高は、102億80百万円（前年同四半期比24.5%増）となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

「ヘパリーゼ群」につきましては、未だ新型コロナウイルス感染拡大やインバウンド需要の激減などの影響を受けてはいるものの、医薬品ヘパリーゼ群に加え、コンビニエンスストア向けヘパリーゼW群も大幅に伸長したことにより、売上が大きく増加いたしました。「コンドロイチン群」につきましても、積極的な広告宣伝投資などの効果もあり、売上は堅調に推移いたしました。一方、植物性便秘薬「ウィズワン群」や消毒薬などの衛生用品は、競合品の影響などにより、売上が減少いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、59億88百万円（前年同四半期比14.0%増）となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は36百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,289億87百万円となり、前連結会計年度末対比47億5百万円の増加となりました。その内訳は流動資産が456億14百万円で、前連結会計年度末対比39億50百万円の増加、固定資産が833億73百万円で、前連結会計年度末対比7億54百万円の増加となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加24億61百万円、受取手形及び売掛金の増加8億13百万円、商品及び製品等の棚卸資産の増加3億23百万円であります。また、固定資産の増減の主なものは、無形固定資産の増加10億20百万円、投資その他の資産の減少3億56百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は719億48百万円となり、前連結会計年度末対比27億58百万円の増加となりました。その内訳は流動負債が471億61百万円で、前連結会計年度末対比29億68百万円の増加、固定負債が247億86百万円で、前連結会計年度末対比2億9百万円の減少となっております。流動負債の増減の主なものは、買掛金の増加8億91百万円、短期借入金の増加15億23百万円、未払費用の増加等流動負債のその他の増加5億95百万円であります。固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少82百万円、退職給付に係る負債の減少98百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は570億39百万円となり、前連結会計年度末対比19億47百万円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上26億1百万円、前期末配当の実施7億99百万円、自己株式の増加5億15百万円、その他有価証券評価差額金の減少4億12百万円、為替換算調整勘定の増加10億72百万円等によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.1%低下し、44.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、アサコールやディフィクリアなどの海外売上高の伸長によって期初の連結業績予想をやや上回る推移となっております。第2四半期以降も売上高はほぼ計画通りに推移する見込みではありますが、新型コロナウイルス感染再拡大の影響や今後の為替の動向が不透明であることから、現時点では2022年5月11日発表の連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,704,282	14,165,926
受取手形及び売掛金	16,206,812	17,019,968
商品及び製品	6,721,583	7,206,946
仕掛品	1,409,684	1,207,232
原材料及び貯蔵品	3,819,276	3,859,818
その他	1,855,502	2,205,228
貸倒引当金	△53,425	△50,833
流動資産合計	41,663,717	45,614,287
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,655,232	6,576,532
土地	12,354,010	12,357,258
その他（純額）	4,130,101	4,296,038
有形固定資産合計	23,139,343	23,229,829
無形固定資産		
のれん	5,830,459	5,756,297
販売権	27,539,473	28,268,077
その他	7,836,095	8,202,455
無形固定資産合計	41,206,029	42,226,830
投資その他の資産		
投資有価証券	7,005,587	6,709,480
退職給付に係る資産	10,736,005	10,673,666
その他	583,595	581,101
貸倒引当金	△51,945	△47,511
投資その他の資産合計	18,273,242	17,916,736
固定資産合計	82,618,615	83,373,396
資産合計	124,282,333	128,987,683
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,049,590	2,940,816
短期借入金	33,842,933	35,366,065
未払法人税等	458,297	778,944
賞与引当金	1,530,935	1,168,752
その他	6,311,307	6,906,577
流動負債合計	44,193,063	47,161,156
固定負債		
長期借入金	18,385,860	18,302,900
契約解除損失引当金	490,142	530,160
退職給付に係る負債	1,073,819	975,594
資産除去債務	55,827	55,878
その他	4,991,146	4,922,315
固定負債合計	24,996,794	24,786,848
負債合計	69,189,858	71,948,004

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	11,685,121	11,685,121
利益剰余金	48,860,697	50,662,609
自己株式	△17,593,074	△18,109,027
株主資本合計	49,546,143	50,832,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△193,416	△605,982
為替換算調整勘定	3,215,379	4,287,438
退職給付に係る調整累計額	2,326,536	2,311,497
その他の包括利益累計額合計	5,348,499	5,992,953
非支配株主持分	197,832	214,623
純資産合計	55,092,474	57,039,679
負債純資産合計	124,282,333	128,987,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	13,548,962	16,305,183
売上原価	4,250,003	4,552,528
売上総利益	9,298,958	11,752,655
販売費及び一般管理費	8,047,156	8,775,525
営業利益	1,251,802	2,977,129
営業外収益		
受取利息	1,893	3,230
受取配当金	146,822	156,760
為替差益	731,333	—
その他	28,102	32,780
営業外収益合計	908,152	192,772
営業外費用		
支払利息	69,921	84,984
為替差損	—	103,018
その他	8,648	7,031
営業外費用合計	78,570	195,035
経常利益	2,081,384	2,974,866
特別利益		
固定資産売却益	3,719	251
特別利益合計	3,719	251
特別損失		
固定資産除却損	2,061	2,946
特別損失合計	2,061	2,946
税金等調整前四半期純利益	2,083,041	2,972,172
法人税等	671,324	367,525
四半期純利益	1,411,717	2,604,646
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,760	3,357
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,408,956	2,601,289

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,411,717	2,604,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△711,968	△412,566
為替換算調整勘定	△341,790	1,085,507
退職給付に係る調整額	△146,137	△15,039
その他の包括利益合計	△1,199,896	657,901
四半期包括利益	211,820	3,262,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197,332	3,245,743
非支配株主に係る四半期包括利益	14,488	16,805

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,259,396	5,253,131	13,512,527	36,435	13,548,962	—	13,548,962
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	48	48	144,342	144,390	△144,390	—
計	8,259,396	5,253,179	13,512,575	180,777	13,693,352	△144,390	13,548,962
セグメント利益	1,546,240	986,126	2,532,366	68,596	2,600,963	△1,349,161	1,251,802

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,349,161千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,280,864	5,988,085	16,268,949	36,233	16,305,183	—	16,305,183
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,816	58	2,875	109,515	112,390	△112,390	—
計	10,283,680	5,988,144	16,271,824	145,749	16,417,574	△112,390	16,305,183
セグメント利益	2,831,626	1,346,578	4,178,205	58,039	4,236,244	△1,259,114	2,977,129

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,259,114千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	10,280,864	24.5
コンシューマーヘルスケア事業	5,988,085	14.0
報告セグメント計	16,268,949	20.4
その他	36,233	△0.6
合計	16,305,183	20.3

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

(2) 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

(2022年8月4日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
フェーズⅢ	Z-338/アコチアミド	ゼリア	小児機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ	ZG-801/ パチロマーソルビテクスカルシウム	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合非吸収性 ポリマー	導入品
フェーズⅡ* (医師主導治験)	Z-338/アコチアミド	九州大学	食道胃接合部通過 障害	上部消化管運動改善作用	自社品

*: 日本医療研究開発機構 (AMED) の助成事業に採択

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
フェーズⅢ (欧州)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
承認 (メキシコ)	Z-338/アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)
申請中 (チリ、コロンビア、 ペルー、エクアドル、 ドミニカ共和国)	Z-338/アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)
申請中 (タイ、インドネシア)	Z-338/アコチアミド	Meiji Seikaファルマ	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)